

# **大阪市の国際学校事業の今後のあり方に関する提言**

## **(参考資料)**

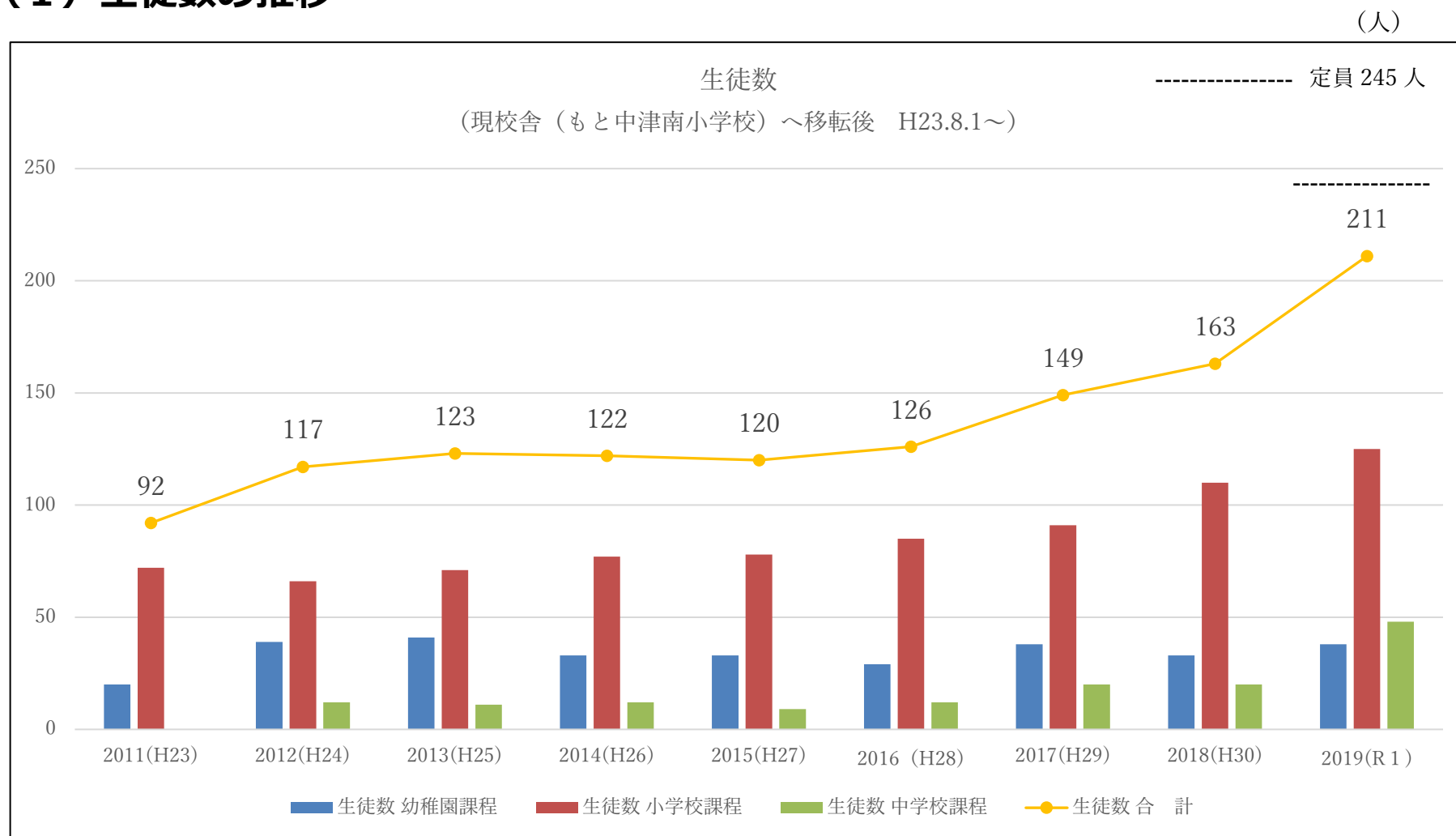
国際学校の今後のあり方検討会議

令和2年2月25日

## 大阪市の国際学校の今後のあり方に関する提言（参考資料）

（１）生徒数の推移	… 2
（２）教職員数の推移	… 3
（３）あり方検討会議委員による資料提供、委員へのインタビュー	… 4
（４）現行事業者の報告	… 9
（５）外国人駐在員等向け外資系企業リロケーション事業者インタビュー	…10
（６）外国人ビジネスパーソンの都市・オフィス・居住環境に関するニーズ調査報告書	…12
（７）在籍生の居住地及び外資系企業の所在地（集積図）	…13
（８）国際バカロレア（IB）について	…14

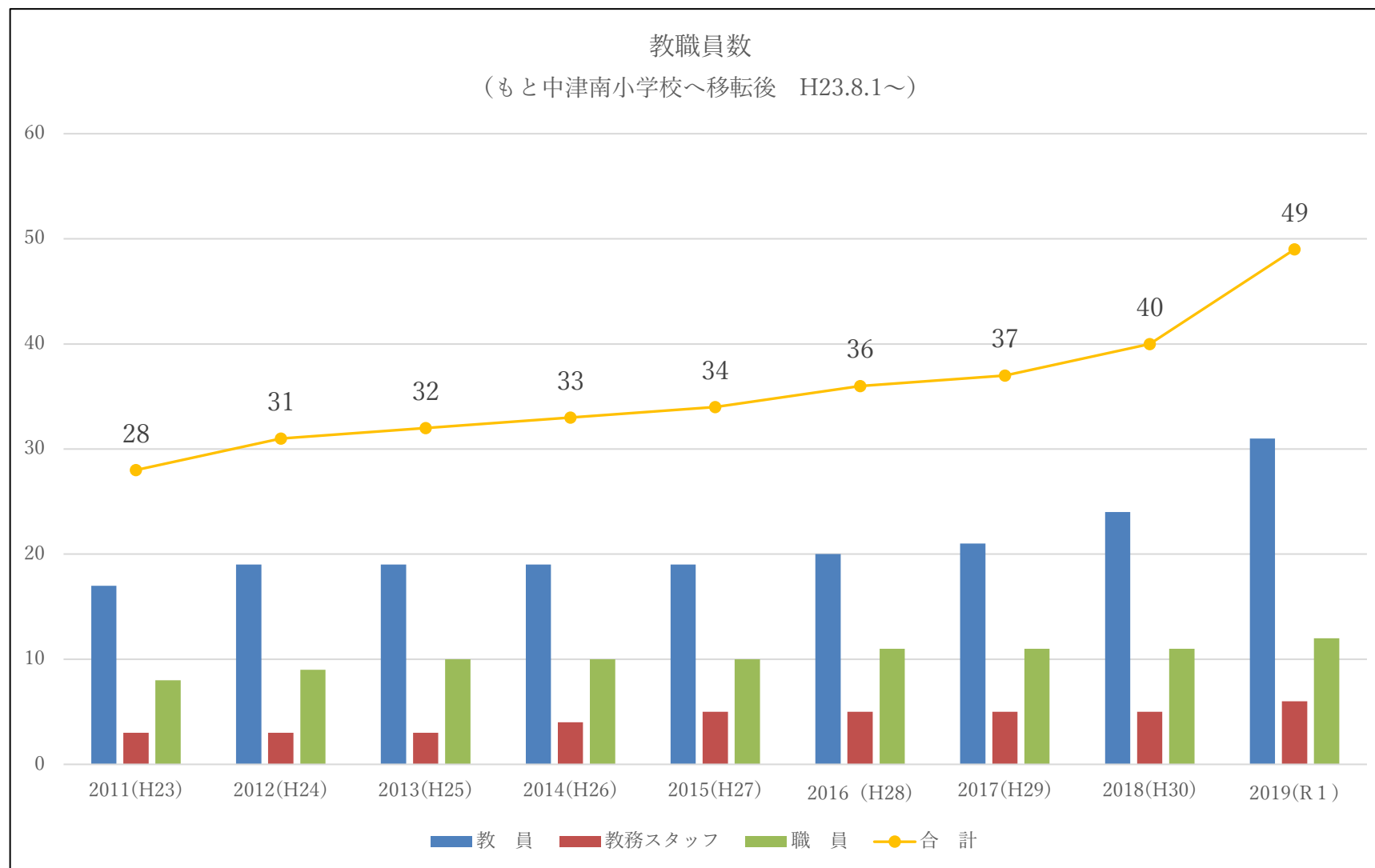
## (1) 生徒数の推移



※ 各年度 9 月 1 日時点

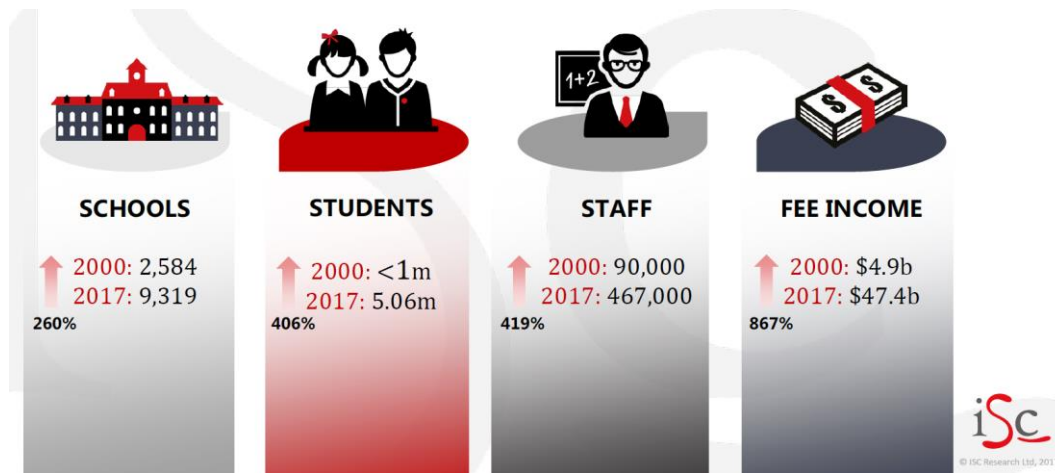
## (2) 教職員数の推移 (2019年9月1日時点)

(人)



### (3) あり方検討会議委員による資料提供、委員へのインタビュー

#### <提供資料> 世界のインターナショナルスクールの状況



インターナショナルスクールはここ  
10数年での世界的に伸びている。

(2018年度では)

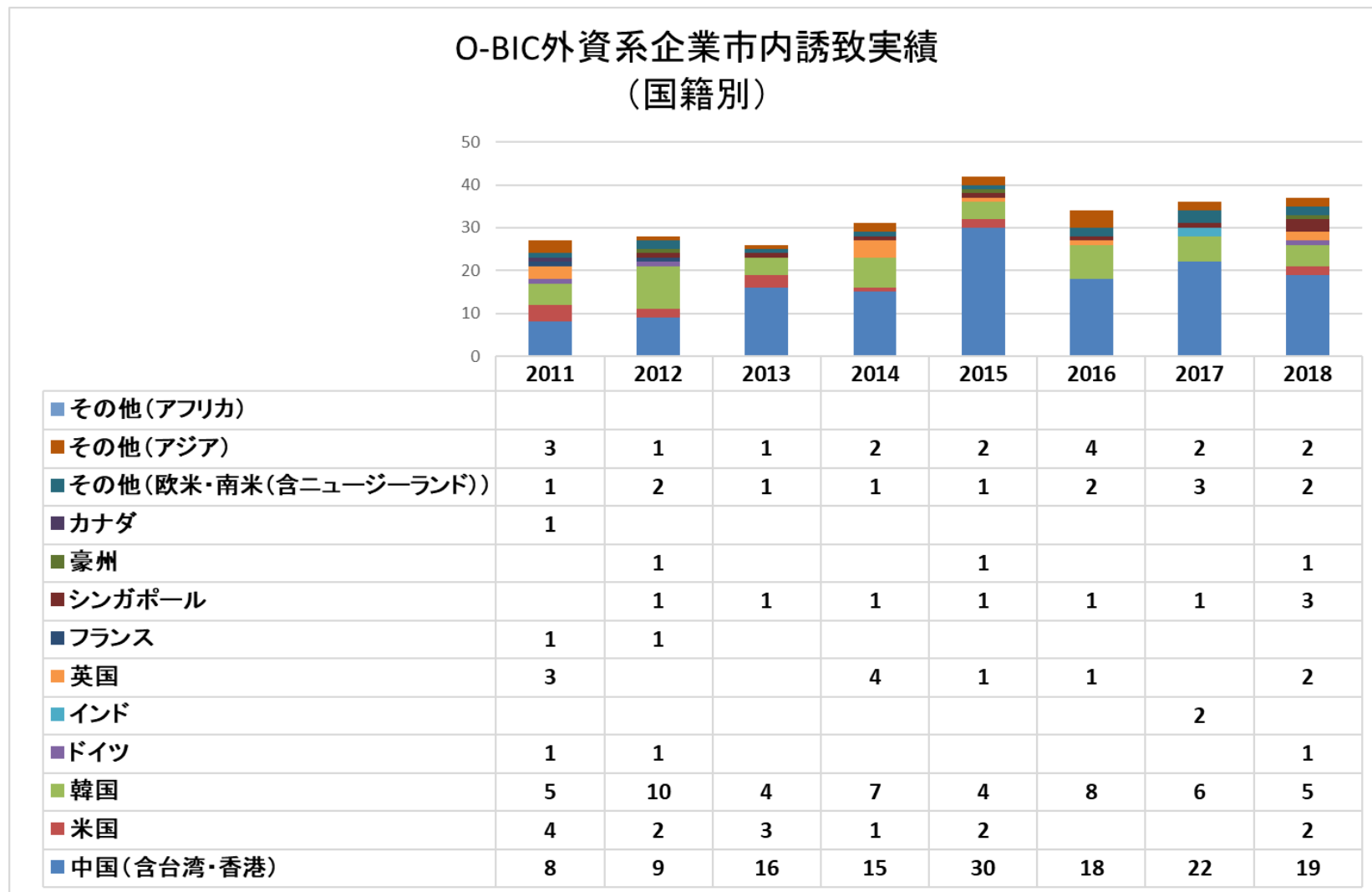
学校数	10,282 校
生徒数	536 万人
常勤職員数	50.3 万人
総収入	499 億ドル



世界のインターナショナルスクール  
全体の傾向として、30年前は、『駐在  
員家庭（外国）の子どもたち』が通  
う学校であったが、現在は『現地  
（自国）の子どもたち』が通う学校  
に様変わりしている。

(出典：ISC research)

## <提供資料> O－B I C外資系企業市内誘致数



## ＜提供資料＞ 地域との交流事業（参考事例：NPO 法人 関西ブラジル人コミュニティ CBK）

### 【ひょうご子ども交流会】在住ブラジル人のこどもの教育支援における交流イベント

- 1) 概 要
  - ・神戸市内で、在住する外国人の子どもを対象とした母国教室などの活動をする、韓国、ベトナム、ペルーコミュニティとCBKが共同で開催した生徒の交流会（2019年1月）
  - 「神戸市立海外移住と文化交流センター」を会場として、各国の生徒が歌や民族楽器の演奏、ダンスを披露
- 2) 交流を深めるための工夫
  - ・事前の準備と打合せ・・・各コミュニティの生徒のリーダが中心になって実施（約3カ月）
  - ・当日・・・各コミュニティの生徒を少人数のグループに分け、ブラジル料理をともに食した
- 3) 母国について学ぶ工夫+子ども同士が直接コミュニケーションできる工夫
  - ・事前に、参加各コミュニティで母国の言語を勉強し、どのように説明するか生徒を中心に準備
  - ・当日、それぞれの母国の言語を生徒たち自身が他国の生徒のグループに教える側となり、簡単なあいさつや単語を学び合った。
- 4) 実 績
  - ・参加コミュニティ 4コミュニティ
  - ・参加生徒数 計 61人（ベトナム 10人・韓国 14人・ペルー 7人・CBK 30人）
- 5) 交流の効果、事業運営の課題と改善に向けた取組
  - 交流の効果
    - ・今回のイベントを終えてから、ほかの国の文化の体験を通じて、同じ地域の学校に通学する各コミュニティの子どもたちの間の交流が強まった
  - 事業運営の課題
    - ・学校側の負担が大きい（CBKの主な担当職員 4人、準備 約3カ月）
  - 課題の改善に向けた取組み・工夫
    - ・子どもたち中心の準備・運営により負担が少なかった。今度も、同方針で行いたい。

# 第一回ひょうご子ども交流会

日時：2015年9月12日（土曜日） 場所：海外移住と文化の交流センター5F

## ベトナム語と衣装の紹介



## ブラジルのクアドリリャ・ダンス



## 四か国の集合写真



## ペルーのピニャタのお菓子ひらい

## 韓国語と音楽の紹介



## ＜委員へのインタビュー＞

- ・ インターナショナルスクールへのニーズにおいて最も重視される教育の質においても、**中学課程までを備え、I Bの教育理念の本質を理解し協調性もある優れた教師を一定数確保し、維持向上に努めており、インターナショナルスクール事業として、海外人材から求められる十分な水準を満たしている。**
- ・ **長年の事業成果を確実に継承・発展させることができるよう、国内の国際学校事業者に対する市場動向調査を行うなど、減免も含めた公募条件の実現可能性の検証や、公的支援の制度設計等について慎重に行うべき。**
- ・ **現在の事業者との校地・校舎の使用貸借の契約期間が残り 1 年半余りであるが、市場動向調査においては、新たな事業者による国際学校の開校準備のプロセスやその所要期間などについても把握したうえで、スケジュールについても、残契約期間に拘らず無理のないものとされたい。**

#### **（４）現行事業者の報告**

- **幼稚園から中学課程（９年生）までのＩＢの教育課程を備えている等から、大阪ＹＭＣＡを子どもの教育機関として選定し、通学時間を最優先事項として居住地を市内に選定している保護者が多い。**
- **ＩＢディプロマプログラム（ＤＰ）は、保護者世帯の従前からのニーズが高い。**
- **生徒数について、事業者が市内に保有する教育施設において、現施設では困難なＩＢディプロマプログラム（ＤＰ）を、２～３年内に開設する取組により急増した。**

## **（５）外国人駐在員等向け外資系企業リロケーション事業者インタビュー**

- **外国人駐在員等は、子どもの教育環境を居住地選定で最優先事項とする。**
- **中学課程（９年生）までのＩＢの教育課程を備えていることが必須条件となる。**
- **９年生（中学課程）までは教育課程が整っている大阪ＹＭＣＡインターナショナルスクールの認知度は上がっているが、ＩＢディプロマプログラム（ＤＰ）が設置されていないため、選択肢としては枠外となる場合が多かった。**
- **必ず学校の近隣に居住し、（北区の）交通・生活至便なエリアの立地を重視するため、大阪ＹＭＣＡは、大阪では最も選ばれる国際学校である。**

- **I Bディプロマプログラム（D P）を提供するという信頼が加わると、大阪・滋賀・奈良・京都等に勤務される外国人駐在員等が、大阪Y M C Aを選択し、学校近接地に居住される事例もあり、選ばれる可能性がより高まった。**
- **将来的に、学校近接地に海外人材のコミュニティ形成がされていき、外資系企業にとっても大阪への人材派遣が行い易くなると考えられる。**

## (6) 外国人ビジネスパーソンの都市・オフィス・居住環境に関するニーズ調査報告書

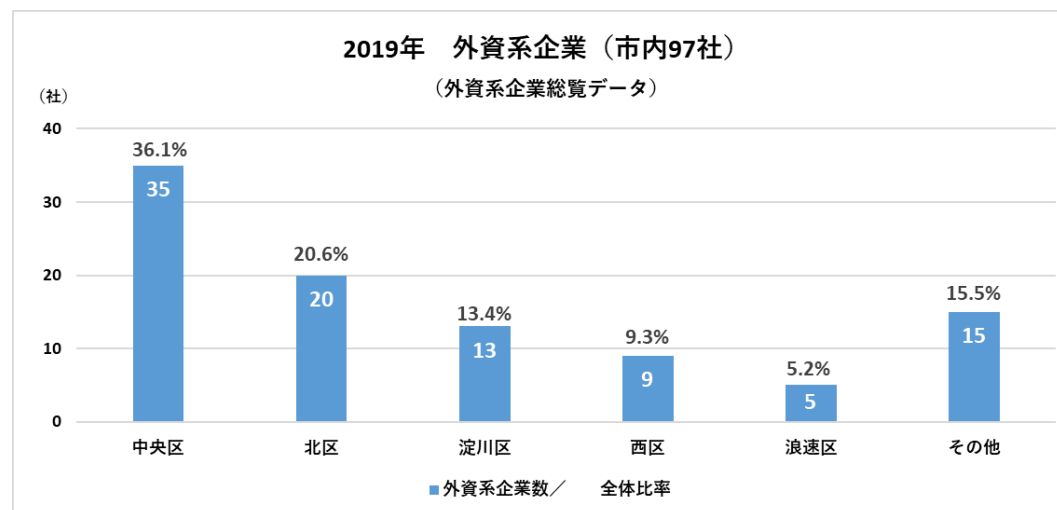
(出典：一般社団法人不動産協会 2015 年 10 月)

### 【調査対象】 東京都及び神奈川県在住の外国人勤務者

- 子弟の通学に便利な居住地の選定や紹介を重視 **85.7%**
- 子弟の本国と同様の教育サービスの提供を重視 **75.0%**
- 住まいや居住環境に求める立地条件や周辺環境（主な要望）
  - ・ **インターナショナルスクール・保育園など教育施設が充実**している

## (7) 在籍生の居住地及び外資系企業の所在地（集積図）

居住地（市内）	全体割合
北 区	27.5%
福島区	9.0%
淀川区	9.0%
中央区	5.2%
西 区・住吉区	4.7%



## (8) 国際バカロレア (I B) について

### ■ 国際バカロレア (I B) とは (出典：文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム H P)

国際バカロレア機構 (本部ジュネーブ) が提供する国際的な教育プログラム。

国際バカロレア (IB : International Baccalaureate) は、1968 年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格 (国際バカロレア資格) を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として I B ディプロマプログラム (D P) を開始。認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施。1994 年に I B 中等教育プログラム (M Y P)、1997 年に I B 初等教育プログラム (P Y P) を実施。

## ■ IBプログラムについて

グローバル化に対応できるスキルを身に付けた人材を育成するため、生徒の年齢に応じて、以下の教育プログラムを提供。

教育課程	【 <a href="#">令和元年11月1日時点</a> 世界の登録校数（うち国内登録校数）】  対象年齢	教育プログラムの概要
PYP (Primary Years Programme) IB 初等教育プログラム（PYP） （1997 年より）	【1, 658 校（国内：38 校）】  3-12 歳	精神と身体の両方を発達させることを重視したプログラム。どのような言語でも提供可能。
MYP (Middle Years Programme) IB 中等教育プログラム（MYP） （1994 年より）	【1, 488 校（国内：18 校）】  11-16 歳	青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。どのような言語でも提供可能。
DP (Diploma Programme) IB ディプロマプログラム（DP） （1968 年より）	【180 校（国内：49 校）】  16-19 歳	所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能。原則として、英語、フランス語又はスペイン語で実施。